

ビデオクリップの仕様

この記事では、ビデオクリップとプレゼンターメディアの違い、ビデオクリップが出席者にどのように表示されるか、ON24 ウェブキャストのビデオクリップの仕様について説明します。

ビデオクリップとプレゼンターメディアの使い分け

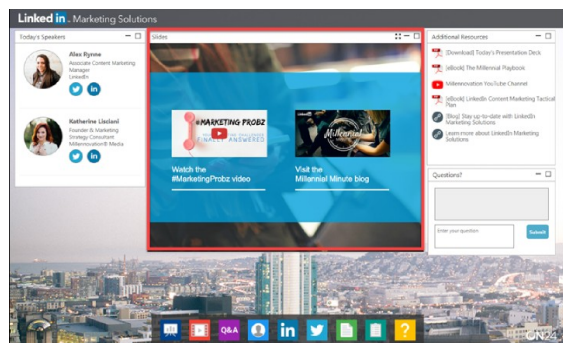
ビデオクリップは、スライド、アンケート、URL など、他のウェブキャスト要素と組み合わせて使用します。ビデオクリップはすべてのイベントでサポートされています。ビデオクリップは、Webcast Elite の「Slides and Video Clips (スライドとビデオクリップ)」ページ、またはプレゼンターインターフェイスの**設定ウィンドウ**でアップロードします。

プレゼンターメディアファイルは、オンデマンドイベントや疑似ライブイベントで使用します。プレゼンテーション全体を録画した長いファイルです。これらのファイルは、ウェビナー全体の録画として、イベント全体で使用します。プレゼンターメディアファイルは、「**Presenter Media (プレゼンターメディア)**」タブの**プレゼンテーションマネージャーの「Setup (セットアップ)」ウィンドウにアップロード**します。このタブは、疑似ライブ、疑似 2 ライブ、オンデマンドイベントタイプでのみ使用できます。プレゼンターメディアファイルをアップロードしたら、すべてのプレゼンテーション要素のスライドのタイミングを設定する必要があります。また、**プレゼンターメディアをアップロードすると、電話からの音声は録音されません場合があります**。ウェブキャスト中、プレゼンターメディアは、メディアプレーヤー内でオーディエンスに表示されます。

オーディエンスへの表示

発表の種類が**ライブオーディオ (画面共有なし)**、**疑似ライブ**、または**オンデマンドレコーディング**のウェブキャストの場合、ビデオクリップは**スライドエリア**に表示されます。スライドエリアは、必要に応じて全画面に最大化できます。

発表の種類が**ライブビデオおよびオーディオ (画面共有あり)**のウェブキャストの場合、ビデオクリップは**メディアプレーヤー**に表示されます。メディアプレーヤーは、ビデオクリップを表示すると自動的に最大化され、ビデオクリップが終了すると自動的に最小化されます。[ライブビデオおよびオーディオのウェブキャストで使用するビデオクリップの設定方法については、ここをクリックしてください。](#)



ビデオクリップの仕様

**ビデオクリップをオーディエンスに正しく再生するには、以下の仕様に従う必要があります。

1. **ビデオクリップはすべて MP4 形式である必要があります。**1 回のウェブキャストでアップロードできるビデオクリップは 20 個までです。
2. **ビデオクリップをウェブキャストの最初にプッシュする要素としては指定できません (最初の要素は必ずスライドにします)。**また、よりスムーズな再生とオンデマンドエクスペリエンスを実現するため、クリップ同士の間にはスライドをプッシュすることをおすすめします。これらのスライドは、ウェビナーに[チャプター](#)を追加する場合に、プレースホルダーとして使用できます。
3. ビデオクリップはすべて、オーディオおよびビデオストリームがエンコードされている必要があります (オーディオが無音であっても必要です)。

ON24 プロダクションで MP4 を再エンコードする必要がある場合は、ライブイベントの **5 営業日**前までにご準備ください。

ファイルサイズ	MP4 (.mp4) 2 GB以下		
ビデオ形式	H.264/AVC	VP6	これらのコーデックは絶対に必要です。 *MPEG-4 Visualコーデックには対応していません。
オーディオ形式	AAC	MP3	H.264を使用している場合はAACオーディオ形式をおすすめします。MP3を使用すると、モバイルでのストリーミング再生で問題が発生する場合があります。
サンプルレート	48kHz		
オーディオ	32 Kbps、モノラル		オーディオは32 Kbpsで十分です。そうすれば、より高いビットレートでビデオをエンコードできます。 スタジオで録音した場合を除き、96 Kbps以上のモノラルオーディオストリームは必要ありません。
フレームサイズ	ビデオクリップをスライドエリアに表示する場合、フレームサイズはオーディエンスコンソールのスライドエリアと同じサイズである必要があります。		寸法： 16:9 1280x720または800x450 4:3 960x720または800x600
	ビデオクリップは、16:9または4:3のアスペクト比にする必要があります。		
	ファイルサイズと帯域幅の問題を最小限に抑えるため、1280 x 720ピクセル以下にすることをおすすめします。		

<p>ビットレート。ビデオ内のデータを配信する際の「1秒あたりのビット数」(bps)。</p>	<p>1 Mbps/1000 Kbps</p> <p>(オーディオチャンネルとビデオチャンネルの両方を足して、合計のビットレートを算出します)</p> <p>一般的には、ビットレートが高くなるほど、オーディエンスが必要とする帯域幅も高くなります。</p> <p>固定ビットレートである必要があります。</p>	<p>ファイルのサイズと画像および音声の品質は、いずれも使用するビットレートで制御されます。ビットレートが高くなればなるほど、品質の向上が期待でき、ファイルサイズも大きくなります。</p> <p>国外にオーディエンスがいる場合や、同一ネットワーク上に多数のユーザーがいるイベントでは、低いビットレートを使用する必要があります。このような場合、一般的に帯域幅の制限による影響を受けやすくなります</p>
<p>フレームレート。1秒あたりのフレーム数 (fps)</p>	<p>30 fps以下</p>	
<p>キーフレーム</p>	<p>3秒ごとに1つのキーフレーム</p>	

ベストプラクティス

1) **練習セッションの前にビデオクリップをアップロードしてください。**ベストプラクティスとして、ライブイベントの少なくとも **24~48 時間前**にビデオクリップをアップロードし、ウェブキャストが始まる前に、ビデオとオーディオが期待どおりに再生されることを確認することをおすすめします。

2) **プレビューURL をクリックし、別のブラウザタブでプレビューコンソールを開くと、スライド、ビデオクリップ、アンケートなどをプレビューできます。**ビデオクリップを再生できない場合は、ケースを送信してサポートを依頼することができます。

その他の注意事項

ライブウェビナーでは、出席者のインターネット接続品質に応じて、ビデオクリップの再生時間がオーディエンスメンバーごとに多少変わります。数秒の遅延が生じることは、ライブ配信技術の性質上、予想されることです。

そのため、次のスライドに進む前に 5 秒ほど待ち、すべてのオーディエンスがビデオクリップを最後まで再生できるようにすることが重要です。ビデオ編集ソフトウェアや制作サービスを使用できる場合は、各ビデオクリップの最後に無音部分を 10~15 秒間追加し、バッファーとして機能させることをおすすめします。このビデオ (<https://vimeo.com/121062997>) の最後の部分で、例を確認できます。

スライドエンゲージメントツールでビデオクリップを再生しながら、メディアプレーヤーエンゲージメントツールでビデオストリーミングを行うことは**おすすめしません**。出席者が必要と

する帯域幅が増加するためです。たとえば、スライドエンゲージメントツールで300KのMP4を再生し、メディアプレーヤーで300Kのビデオストリーミングを行う場合、少なくとも600Kbpsの帯域幅が必要となります。このような場合は、MP4コンテンツをビデオストリーミングで配信することがベストです。これは、プレゼンターメディアビデオを使用する疑似ライブイベントでは、より大きな問題となります。